

奈良の輝く

# 企業

vol. 8

奥吉野の食文化を  
古都奈良から全国へ

株式会社 中谷本舗  
営業企画部 販売部 次長

澤田 真さん

ぬざさ寿司

柿の葉すし

従業員の竹中さん(左)と澤田さん(右)



## 寿司飯へのこだわり

中谷本舗は、柿の葉すしや笹寿司を製造販売する会社です。「ぬざさ」という屋号でも、県民の皆さんには馴染みがあるかもしれませんね。当社は大正10年に上北山村で米屋として創業しました。そのため、米の選定やブレンド、炊飯技術に独自のノウハウを蓄積し、寿司飯には大変こだわっています。

「ぬざさ」のものづくりの鍵は「人」にあります。米を見分ける目、ブレンドした味を確かめる舌、出来上がりまでの寿司飯の状態を見守ることも、人にしかできない仕事です。また、米は自然の産物ですから、毎年同じとは限りません。一つの銘柄ではなく複数の米を厳選してブレンドしています。経験で培ったノウハウとブレンド米こそが「ぬざさ」の命です。

—首都圏や  
外国人観光客にモ人気

近年は首都圏での柿の葉すしの認知度が高まっていて、おみやげの他に、旅行や出張に持つて行く駅弁としても人気です。東京駅などでの駅ナカ施設での需要が伸び、生産量や生産効率の増強が必要となつたため、田原本町の工場を拡張しました。

柿の葉すしは外国人にも人気です。奈良への外国人観光客が増えたことも

あり、東大寺の近くにある夢風ひろば店のレストランは、多くの外国人のお客さんでにぎわっています。「SUSHI」が世界でも共通語になつてることや、すぐに食べられる手軽さから、外国人にも受け入れられているようです。

## 伝統を守りながらも、 新しい試みを

中谷本舗は、4年後に創業100周年を迎えます。これまで受け継いできた伝統の味やノウハウを守りつつ、新たな試みにも挑戦しています。

「柿の葉すし」やオリジナルの「ぬざさ寿司」に加えて、季節限定の寿司づくりにも取り組んでいます。また、ラッピングや詰め合わせを工夫して、お土産や贈答用としても喜んでもらえるようにしています。奈良のおいしい食を全国へ届けていきたいです。



夢風ひろば店



## 株式会社 中谷本舗

所 奈良市押熊町2141-1  
0120-234-888  
[www.izasa.co.jp/](http://www.izasa.co.jp/)

「夢風ひろば店」のレストランからは、東大寺の南大門や大仏殿の大屋根を一望できます。贅沢な空間でゆっくりとぬざさの寿司を味わってください。